



暮らしやすく、

子育てのしやすい町づくり “元年”

日野町長 景山享弘

新年あけましておめでとう
ございます。

今年の元旦は、穏やかな年
始めとなりましたが、町民の
皆さまには、元気で新しい年
をお迎えになったこととお慶
び申し上げます。

さて、昨年12月には衆議院
議員総選挙が実施され、政権
交代と変革を求めて3年前に
華々しく誕生した民主党政権
から、新しく生まれ変わろう
とする自民党政権へと国会は
様変わりし、2度目の安倍内
閣が誕生いたしました。国民
の期待に充分応える政治がな
されることを強く願っていま
す。

大きな課題を背に減速傾向

の「日本丸」を国民みんなで
一丸となつて、経済の安定は
もとより、心豊かでやすらぎ
のある国にしようではありません
せんか。

私たち日野町においても、
昨年中は皆さまのご理解とご
協力をいただき、身の丈に
あつた施策を実施することが
できました。眠っていた歴史、
文化を掘り起こしながら、こ
れらを誇りとし、まちづくり
を進めているところです。

しかしながら、少子化が進
み、町の人口減少が進んでお
ります。この町を維持してい
くためにも、若い人たちに住
んでいただくなくてはなりま
せん。そのためには、働く場

の確保を図りながら、暮らし
やすく子育てのしやすい環境
づくりが、これからの課題と
なります。

今年は、これらを念頭にお
いた施策を、町民の皆さまと
共に考え、行動する元年にな
るよう念じています。

結びといたしまして、この
1年の皆さまのご健康とご多
幸を祈念し、新年のあいさつ
といたします。今年もよろし
くお願いいたします。



あなたが“ふるさと”を思う風景はありますか ふるさと日野の応援歌『遠くに大山』が完成

皆さんがふるさと日野を思う時、ふと浮かぶ風景はありますか。ふるさとを懐かしく思う心、元氣ある町になってほしいと願う心が出会い、この度、ふるさと日野の応援歌『遠くに大山』という歌が生まれました。

町の応援歌ができた

『遠くに大山』は、作詞を広島県庄原市総領町の和田芳治さん（元総領町教育長）、作曲を町内を中心に音楽活動する同級生ユニット「Seven Rider」の安達知幸さん（根雨）と宮田浩希さん（本郷）が行いました。平成24年10月に開かれた、生きいき“ひの”ふれあいまつりの芸能発表や、町外の音楽イベントで演奏され、聞いた人からは好評を得ています。

作曲を担当した宮田さんは「町の応援歌で、幅広い世代へのメッセージソングです。町に元氣が出ればうれしい」と笑顔を見せ、編曲を担当した安達さんは「多くの出会いから生まれた歌です。合唱

などでたくさんの人に歌ってほしい」と、今後、町内で歌われることを期待しました。

自然と浮かんだ曲作り

詞ができたきっかけは、和田さんが平成23年度人權啓発講演会の講師として町を訪れたこと。遠くに大山を望み、日野川があり、オシドリがいる風景に、ふるさとを感じたことが綴られた内容です。

二人が作曲を担当することになったのは、作詞をした和田さんが「日野町に住む人に作曲してほしい」と町教育委員会に依頼していたことから。宮田さんは「曲は、詞からイメージして自然と浮かんできました。いつも私たちがオリ



安達さん（左）と宮田さん（中）が、完成した歌のCDを町に寄贈（12月12日）

ジナル曲を作っていますが、今回、初めて“ふるさとの歌”を作る機会をいただき、良い経験ができました」と曲作りを振り返ります。

長く歌われる歌になれば

これまで日南町と南部町の音楽イベントで、歌を披露した二人は「大山を望むすべての町に当てはまる歌だと思えます。聞いた人がふるさとへの思いを抱くこと

に驚きました」と、反響の大きさを話します。

そして、「多くの人に歌ってほしいです。大山賛歌のように、長く歌われるものになればいいですね」と笑顔を見せました。

『遠くに大山』のCDは、遠くに大山を含めた全3曲入1枚千円で販売中です。問い合わせは、ハイマートタッチ（電話72-0011）まで。